

# 平成 23 年度事業報告（案）

自 平成 23 年 5 月 12 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

# 平成 23 年度事業報告

平成 23 年 5 月 12 日～平成 24 年 3 月 31 日

## I 本部会議運営及び総合調整

### 1 推進本部会議、幹事会及び部会の開催

#### (1) 推進本部会議の設置・開催

・ 5 月 12 日（大阪府咲洲庁舎 50 階 迎賓会議室）

議題①経過と世界遺産登録までの流れについて

②百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進体制について

③平成 23 年度の事業計画（案）と予算（案）について

－審議・了承

#### (2) 幹事会の設置・開催

・ 5 月 12 日（大阪府咲洲庁舎 50 階 迎賓会議室）

議題①経過報告と世界遺産登録までの流れについて

②百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進体制について

③部会の設置について

④平成 23 年度事業計画と予算について

⑤推進本部会議事務局規程及び同財務規程等について

－審議・了承

#### (3) 学術検討・条件整備部会

第 1 回 6 月 17 日（大阪府咲洲庁舎 20 階 共用会議室）

議題①構成資産の精査について

②緩衝地帯等について

③年間スケジュール及び平成 23 年度事業について

第 2 回 12 月 5 日（大阪府咲洲庁舎 23 階 会議室）

議題①国際専門家会議について

②航空レーザ測量委託、類似資産比較研究委託について

③有識者会議委員の追加について

④イコモスの団体加入について

第 3 回 2 月 20 日（大阪府咲洲庁舎 18 階 会議室）

議題①国際専門家会議・国際シンポジウムについて

②平成 23 年度委託事業について

③平成 24 年度当初予算について

#### (4) 魅力創出・情報発信部会

第 1 回 5 月 20 日（大阪府咲洲庁舎 38 階 府民文化部会議室）

議題①推進本部会議・幹事会の報告について

②魅力創出・情報発信部会での検討事項について

③ユネスコ世界遺産委員会への参加について

第2回 7月29日（大阪府咲洲庁舎20階 会議室）

議題①百舌鳥・古市古墳群PR用シンボルマーク及びロゴ等デザイン  
作成委託業務コンペ（案）について

②御堂筋k a p p oでのPRについて

第3回 12月5日（大阪府咲洲庁舎23階 会議室）

議題①国際シンポジウム・国際専門家会議の開催について

②情報発信プラン（骨子）について

③平成24年度当初予算要求について

第4回 2月20日（大阪府咲洲庁舎18階 会議室）

議題①国際シンポジウム・国際専門家会議の実施について（報告）

②平成24年度当初予算について

③民間協議会の設置・構成について

## 2 有識者会議の開催

(1) 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録 有識者会議 第10回専門部会  
・8月25日（堺市役所高層館20階 第2特別会議室）

議題①これまでの経過報告

②構成資産の選択とその理由について

③類似資産の比較研究について

④国際専門家会議及びシンポジウムについて

(2) 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録 第7回有識者会議  
・3月29日（藤井寺市役所 委員会議室）

議題①経過報告（ユネスコ世界遺産委員会への参加、古墳の航空レーザ測量、他）

②価値の証明について（文化庁協議経過、構成資産の絞込み、他）

③今後の取組みについて（推薦書(案)の作成、他）

④会議の公開について

(3) 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録 有識者会議 第11回専門部会  
・3月29日（藤井寺市役所 委員会議室）

議題①国際専門家会議及びシンポジウムについて

②その他（類似資産比較研究、他）

## 3 推進本部会議の管理・運営の実施

(1) 事務局の運営

資料郵送代、資料印刷代、事務用品の購入等の執行 等

## II 魅力創出・情報発信事業

### 1 情報発信事業の実施

#### (1) 百舌鳥・古市古墳群のPR用シンボルマークの策定と普及

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた統一的なメッセージを戦略的・効果的に国内外に発信していくため、シンボルマークとロゴ等デザインの企画提案方式の公募を行い、その普及を図った。

(事業者の決定)

提案者 :46社

選定委員会を平成23年9月7日に実施。株式会社トーン・アップに決定。

選定委員:嶋 高宏 社団法人総合デザイナー協会副理事長(デザイン)

藤原 正宏 堺商工会議所事務局長(経済団体)

和田 晴吾 立命館大学教授(考古学)

中村あつ子 大阪府都市魅力創造局都市魅力課長

(シンボルマーク・ロゴデザインの普及)

・シンボルマークとロゴデザインのVIマニュアル及び運用基準を定め、ホームページで公表し、関係団体や民間団体における使用の普及を図る。

使用承認申請数:9件 (平成23年10月～)

・世界遺産関係者の統一的な名刺デザインの策定、ホームページのバナー作成 等

#### (2) 多言語リーフレットの作成及び関係機関への配布

① 6月のユネスコの世界遺産委員会での配布用として、既存リーフレットのデザインを一部変更し、日本語・英語・フランス語で作成。

発行部数 : 日本語 5千部、英語 2千部、フランス語 1千部

主な配布先: ユネスコ世界遺産委員会、ボルドー観光局ほか

② 新たに策定したシンボルマークとロゴデザインを活用した、一般者向けの百舌鳥・古市古墳群と世界遺産に関するリーフレットを日本語・英語・中国語・韓国語で作成し、関係機関に配布。

発行部数 : 日本語 5万部、英語 3万部、中国語 3万部、韓国語 3万部

主な配布先: 府内公共施設、大阪マラソンEXPOでのPR、関西観光情報センター ほか

### 2 各種イベントにおけるPR活動

多くの人が集るイベント等で、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に向けた取組みを紹介するとともに、各種PRツールを作成。

#### (1) 御堂筋k a p p o 10月9日

目 的 : 毎年10月の第2日曜日(12時から16時)に1日限定で御堂筋(淀屋橋～心齋橋)で行われ、例年40万の人出で賑うことから、百舌鳥・古市古墳群の魅力を府内外へ発信する効果的なツールとして参加。

##### ① メインステージ

・古代衣裳をまとい、仁徳天皇陵古墳と応神天皇陵古墳の大きさ・壮さ等をステージで説明し世界文化遺産登録への意気込みをPR。

② 御堂筋本線

- ・百舌鳥・古市古墳群のパネル展示。
- ・古代衣裳をまとい、世界遺産に関連したクイズ・ゲームを子どもたちと実施。
- ・古代衣裳体験

参加者：古代衣裳体験 約 480 名、ゲーム・クイズ 約 200 名、  
パネル展示 約 20 名 他

(2) 大阪マラソンEXPO 10月28日及び29日

目的：3万人のランナーが参加する第1回大阪マラソン（10月30日）に合わせ、行われた大阪マラソンEXPO2011に参加。世界遺産ブースを設置し、国内外から集まったランナーに百舌鳥・古市古墳群の魅力を発信。

リーフレット配布数：1400部

(3) 各種PRツールの作成

シンボルマーク・ロゴを使用した、のぼり、一筆箋、ボールペン等の作成

3 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進国際シンポジウムの開催

百舌鳥・古市古墳群の価値を世界の墳墓などと比較しながら、海外の専門家と国内の専門家が議論・検証し、府民等への理解を深める。

(開催概要)

日時：1月15日（日） 10：30～17：00

場所：堺市産業振興センターイベントホール

参加者数：約670人

内容：①国際専門家会議報告

②基調講演

「国家の形成と前方後円墳の時代」大阪大学大学院教授 福永伸哉

③海外専門家講演

「新羅王陵と百舌鳥・古市古墳群」大韓民国 慶北大学校教授 朴天秀

「中国と日本の巨大墳墓について」中国社会科学院 考古研究所所長 王巍

「墳墓の持つ意味」イギリス ヨーク大学名誉教授 マーティン・カーヴァー

④パネルディスカッション

「世界の墳墓との比較から描き出される百舌鳥・古市古墳群の価値」

コーディネーター：福永伸哉、岡田保良（国士舘大学教授）

パネリスト：上記海外招聘講師3名

和田晴吾（立命館大学教授）

### Ⅲ 学術検討・条件整備事業

#### 1 ユネスコ世界遺産委員会対応

6月にパリで開催された第35回ユネスコ世界遺産委員会に参加し、情報収集及び百舌鳥・古市古墳群の魅力を世界に発信するとともに、既に世界遺産に登録されている資産に関して地元関係機関等への調査を行い、帰国後報告会を開催した。

##### (1) 第35回ユネスコ世界遺産委員会の参加及びフランスの世界遺産調査

出張期間：平成23年6月19日から6月27日

出張場所：フランス ボルドー市（20日、21日）

フランス パリ市（21日～26日）

調査者：堺市世界文化遺産推進室 次長 小山 和正  
大阪府都市魅力課 課長補佐 片伯部 真由  
大阪府都市魅力課 副主査 小川 裕見子（通訳兼）

##### (2) 報告会の開催 7月29日（大阪府咲洲庁舎20階 会議室）

報告者：堺市世界文化遺産推進室 次長 小山 和正  
大阪府都市魅力課 課長補佐 片伯部 真由  
大阪府都市魅力課 副主査 小川 裕見子

出席者：30名（大阪府及び各市の関係者）

#### 2 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進国際専門家会議の開催

- ・1月11日 古市古墳群視察 イギリス ヨーク大学名誉教授 マーティン・カーヴァー  
大韓民国 慶北大学校教授 朴 天秀
- ・1月12日 百舌鳥古墳群視察 イギリス ヨーク大学名誉教授 マーティン・カーヴァー  
大韓民国 慶北大学校教授 朴 天秀
- ・1月13日 国際専門家会議（リーガロイヤルホテル堺 葵の間）
  - ①「日本の古墳の中での百舌鳥・古市古墳群」近つ飛鳥博物館館長 白石太一郎  
（なお、白石氏については当日急病にて欠席。事務局から説明）
  - ②「東アジア地域から見た日本の古墳文化」九州歴史資料館館長 西谷正
  - ③「古墳の構造と他界観」立命館大学教授 和田晴吾
  - ④「初期国家形成過程から見る日本の古墳文化」大阪大学大学院教授 福永伸哉
  - ⑤「古墳とバッファゾーン」東京大学大学院教授 西村幸夫
  - ⑥ディスカッション「日本の古墳と百舌鳥・古市古墳群」
- ・1月14日 国際専門家会議（リーガロイヤルホテル堺 葵の間）
  - ①世界遺産登録に向けたコンセプトについて（事務局）
  - ②「新羅王陵と百舌鳥・古市古墳群」大韓民国 慶北大学校教授 朴天秀
  - ③「中国と日本の墳墓について」中国 中国社会科学院考古研究所所長 王 巍
  - ④「墳墓の持つ価値」イギリス ヨーク大学 名誉教授マーティン・カーヴァー
  - ⑤ディスカッション「世界の墳墓と百舌鳥・古市古墳群」

### 3 類似資産の比較検討

#### (1) 百舌鳥・古市古墳群 類似資産比較研究委託業務

ユネスコ世界遺産委員会に提出する推薦書において、海外の類似資産との比較研究により、百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値を証明する必要がある。そこで、世界遺産の内容及び近年の世界遺産登録の動向を熟知し、類似資産の比較研究を行う能力のある団体等による、比較研究の手法を含めた企画提案方式の公募を行った。

提案者：株式会社プレック研究所

株式会社文化財保存計画協会

選定委員会を平成24年1月27日に実施。株式会社文化財保存計画協会に決定。

選定委員：和田晴吾 立命館大学教授（考古学）

宗田好史 京都府立大学准教授（都市計画、世界遺産）

藤澤広和 堺商工会議所地域・産業振興部次長（経済団体）

### 4 構成資産の資料作成等

#### (1) 百舌鳥・古市古墳群のレーザ測量の実施

現在、構成資産候補として検討している古墳の測量図の大半が古い段階のものであったり、あるいは測量されていなかったりする。こうした構成資産の図面資料は、ユネスコ世界遺産委員会に提出する推薦書に必ず添付しなければならない図面であり、最新の作成かつ詳細な図面であることが求められているため、最新技術の航空レーザによる測量を実施した。

入 札：平成24年1月24日

結 果：5社参加し、アジア航測株式会社が落札